

2026年度

高知大学大学院 総合人間自然科学研究科
理工学専攻(修士課程)

学生募集要項

(一般選抜・社会人特別選抜・推薦特別選抜・自己推薦特別選抜・私費外国人留学生特別選抜)

2025年7月3日改訂版

P. 34 総合人間自然科学研究科理工学専攻（コース・領域）の概要に担当教員2名を追記しました。（変更箇所は赤字で表記）



高 知 大 学

目 次

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	1
沿革	5
[一般選抜]	
1 募集人員	6
2 出願資格	6
3 出願資格についての注意	7
4 出願手続	7
5 選抜方法	8
[社会人特別選抜]	
1 募集人員	11
2 昼夜開講制の趣旨及びカリキュラム等の特例	11
3 出願資格	11
4 出願資格についての注意	12
5 出願手続	12
6 選抜方法	14
[推薦特別選抜]	
1 募集人員	16
2 出願資格	16
3 出願手続	16
4 選抜方法	17
[自己推薦特別選抜]	
1 募集人員	18
2 出願資格	18
3 事前審査について	18
4 出願手続	19
5 選抜方法	20
[私費外国人留学生特別選抜]	
1 募集人員	21
2 出願資格	21
3 出願資格についての注意	22
4 出願手続	22
5 選抜方法	23
[合格者発表・入学手続等]	
1 合格者発表	26
2 入学手続等	26
[その他]	
1 障害等のある者の出願	27
2 奨学金	29
3 その他	29
各コース・プログラムの研究内容の概要	30
授業科目表	35
修了要件及び学位	37
長期履修学生制度について	37
社会人に対する授業時間等の特例	37
教育職員免許状	37
教員免許取得を必要とする科目等履修生に対する特例措置について	38
試験場案内	39
高知大学朝倉キャンパス平面図	40

【添付書類】

○入学願書 ○受験票・写真票・入学検定料払込証明書・座席票 ○住所シール
○志望調書 ○推薦書 ○自己推薦書 ○入学確約書 ○志願確認書
○入学検定料払込用紙 ○提出書類郵送あて名書き用紙

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

理工学専攻では、以下のような学生を受け入れて、教育研究を行います。

理工学専攻

【知識・技能】

- ・理学・理工学を学ぶにあたって必要となる「数学」「理科」「英語」の基礎的事項に関して、大学卒業程度の知識を有している。

【思考・判断】

- ・物事の考え方や判断基準を科学的・論理的に捉えることができる。

【関心・意欲】

- ・数理学・自然科学・生物科学、情報科学、化学・生命現象、自然災害現象のいずれかの分野に対して好奇心と探求心を持ち、課題に意欲的に取り組める。

【技能・表現】

- ・データの収集や整理を行い、課題に対して科学的に、適切に表現できる。

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

- ・自然法則や応用的な科学を主体的に学び、科学倫理を持って、社会の維持・発展に貢献したいという意欲を有している。

また、上記の理工学専攻共通のアドミッション・ポリシーに加えて、コース・プログラムのアドミッション・ポリシーを以下のとおり示します。

数学物理学コース

【知識・理解】

- ・数学や物理学の専門領域についての基礎事項を学び、より高度な専門知識をより深く修めるための準備ができている。科学論文を理解するための英語の基礎的読解力がある。

【思考・判断】

- ・問題点を発見し、解決すべき課題を自ら設定し、分析するといった問題解決の基礎を習得している。

【関心・意欲】

- ・数理や自然現象に好奇心を持って課題に取り組む意欲を持つことができる。

【技能・表現】

- ・習得した自らの専門領域についての内容を的確に発表し、自身の言動に責任を持って議論のぞむことができる。

【態度】

- ・明瞭な課題意識のもとに、研究能力を修得し、学術研究を進展させようとする確固たる意志を持っている。

【入学者選抜方法と評価する能力】

自己推薦特別選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
口頭試問	◎	◎		◎	
面接			◎	○	◎

一般選抜 第1次募集

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
学力試験	◎	◎		○	
面接			◎	○	◎

一般選抜 第2次・第3次募集

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
プレゼンテーション試験	◎	◎		◎	
面接			◎	○	◎

私費外国人留学生特別選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
プレゼンテーション試験	◎	◎		◎	
面接			◎	○	◎

社会人特別選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
小論文	◎	◎		◎	
面接			◎	○	◎

生物科学コース

【知識・理解】

- ・生物の多様性と進化、生態系、それらを取り巻く環境など、生物科学の基礎を身に付けている。

【思考・判断】

- ・生物科学の学修にあたって、客観的かつ合理的な思考を身に付けている。

【関心・意欲】

- ・生物科学の研究に主体的に取り組み、修得した知識をもとに社会に貢献する強い意志を有している。
- ・生物科学を主体的に学び、持続可能な社会の構築に寄与したいという意欲を有している。

【技能・表現】

- ・生物科学の研究に関する基礎的な技能を有し、適切な情報発信の方法を身に付けている。

【態度】

- ・生物科学を主体的に学び、持続可能な社会の構築に寄与したいという意欲を有している。

【入学者選抜方法と評価する能力】

自己推薦特別選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
口頭試問	◎	◎		◎	
面接			◎	○	◎

一般選抜 第1次募集

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
学力試験	◎	◎		○	
面接			◎	○	◎

一般選抜 第2次・第3次募集

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
プレゼンテーション試験	◎	◎		◎	
面接			◎	○	◎

私費外国人留学生特別選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
プレゼンテーション試験	◎	◎		◎	
面接			◎	○	◎

社会人特別選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
小論文	◎	◎		◎	
面接			◎	○	◎

化学生命理工学コース

【知識・理解】

- ・化学や生命理工学分野の幅広い基礎学力を有している。

【思考・判断】

- ・化学・生命理工学研究に対する高い学習意欲と論理的な思考力を身に付けている。

【関心・意欲】

- ・化学・生命理工学研究を進めるために課題を発見し解決する意欲がある。

【技能・表現】

- ・化学や生命理工学に対する客観的かつ合理的な思考や学士レベルの実験技法を身に付け、自身の成果を適切に表現できる。

【態度】

- ・豊かで暮らしやすい社会の持続的構築に貢献できる技術開発・研究能力の修得を目指している。

【入学者選抜方法と評価する能力】

自己推薦特別選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
口頭試問	◎	◎		◎	
面接			◎	○	◎

一般選抜 第1次募集

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
学力試験	◎	◎		○	
面接			◎	○	◎

一般選抜 第2次・第3次募集

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
プレゼンテーション試験	◎	◎		◎	
面接			◎	○	◎

私費外国人留学生特別選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
プレゼンテーション試験	◎	◎		◎	
面接			◎	○	◎

社会人特別選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
小論文	◎	◎		◎	
面接			◎	○	◎

地球環境防災学コース

【知識・理解】

・学士レベルの数学、自然科学、防災技術及び語学に関する基礎知識と地球環境、自然現象の発生機構、防災に関連する分野の専門知識を有している。フィールドにおける観察や調査、室内での実験を通して、地球環境の変化や自然災害リスクを理解している。

【思考・判断】

・データに基づいて客観的・論理的に深く考察をし、適切な結論を導くことができる。過去から現在までの動向を分析し、将来を模索・創造できる広い視野と柔軟な思考力を身に付けている。

【関心・意欲】

・地球上の自然現象や環境・資源と、自然災害リスクが人間生活に及ぼす影響に関心を持つことができる。修得した知識と技能を、社会的問題の解決のために活用する意欲を有している。

【技能・表現】

・多言語によるコミュニケーション能力や、プレゼンテーションとディベートを通じた問題解決能力を身に付けている。

【態度】

・自身の知識と技能を、社会に還元する意思を有している。

【入学者選抜方法と評価する能力】

自己推薦特別選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
口頭試問	◎	◎		◎	
面接			◎	○	◎

一般選抜 第1次募集

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
学力試験	◎	◎		○	
面接			◎	○	◎

一般選抜 第2次・第3次募集

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
プレゼンテーション試験	◎	◎		◎	
面接			◎	○	◎

私費外国人留学生特別選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
プレゼンテーション試験	◎	◎		◎	
面接			◎	○	◎

社会人特別選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
小論文	◎	◎		◎	
面接			◎	○	◎

※【入学者選抜方法と評価する能力】の表の◎、○は、当該能力の重要度またはそれを評価する比重・目安を示します。(◎は必須・最重要項目、○は必要・重点項目) なお、◎、○は満点の内訳とは直接関係はありません。

情報科学・データサイエンス・DX教育プログラム

【知識・理解】

・データサイエンス、情報科学・情報工学、または、それらを活用可能な理学・工学分野に関する学士レベルの学力と研究分野における知識を備えている。

【思考・判断】

・データサイエンス、情報科学・情報工学、または、それらを活用可能な理学・工学分野の研究に進むにあたって、客観的かつ合理的な思考を身に付けている。

【関心・意欲】

・データサイエンス、情報科学・情報工学、または、それらを活用可能な理学・工学分野の中に学問的関心領域を持ち、強い研究意欲を持っている。

【技能・表現】

・データサイエンス、情報科学・情報工学、または、それらを活用可能な理学・工学分野に関する自身の学習の成果と今後の学習・研究計画について、分かりやすくかつ正確に説明ができる。

【態度】

・学術研究に対する真摯な姿勢を身に付け、得られた成果を高度情報社会に還元しようという意欲を持っている。

【入学者選抜方法と評価する能力】

推薦特別選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
書類審査	◎	◎	○	○	
面接			◎	○	◎

自己推薦特別選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
口頭試問	◎	◎		◎	
面接			◎	○	◎

一般選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
プレゼンテーション試験	◎	◎		◎	
面接			◎	○	◎

私費外国人留学生特別選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
プレゼンテーション試験	◎	◎		◎	
面接			◎	○	◎

社会人特別選抜

選抜方法	評価する能力				
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	技能・表現	態度
小論文	◎	◎		◎	
面接			◎	○	◎

沿 革

昭和60年 4 月	高知大学大学院理学研究科(修士課程)(数学専攻、物理学専攻、化学専攻、生物学専攻、地学専攻：入学定員各専攻 3 人)を設置
平成 6 年 4 月	情報科学専攻(入学定員 8 人)を設置・昼夜開講制及び社会人特別選抜を開始
平成 7 年 4 月	入学定員を数学専攻 8 人(社会人 2 人を含む)、物理学専攻 8 人(社会人 2 人を含む)、化学専攻 8 人(社会人 2 人を含む)、生物学専攻10人(社会人 2 人を含む)、地学専攻10人(社会人 2 人を含む)に増員
平成13年 4 月	地学専攻の入学定員を12人(社会人 2 人を含む)に増員
平成14年 4 月	修士課程を博士前期課程に改組し、数理情報科学専攻20人(社会人を含む)、物質科学専攻26人(社会人を含む)、自然環境科学専攻27人(社会人を含む)に入学定員を変更
平成15年 4 月	自然環境科学専攻の入学定員を29人(社会人を含む)に増員
平成20年 4 月	総合人間自然科学研究科理学専攻(理学コース、応用理学コース)に改組
令和 2 年 4 月	総合人間自然科学研究科理工学専攻(数学物理学コース、生物科学コース、情報科学コース、化学生命理工学コース、地球環境防災学コース)に改組
令和 7 年 4 月	情報科学コースに代わり情報科学・データサイエンス・DX教育プログラムを設置・理工学専攻の入学定員を60名に増員

[一 般 選 抜]

1 募集人員

コ ー ス	募 集 人 員	備 考
数学物理学 生物科学 化学生命理工学 地球環境防災学	25人	1. 社会人特別選抜、私費外国人留学生特別選抜の募集人員を含みます。 2. <u>本専攻の募集人員(60人)に満たない、あるいは総合人間自然科学研究科(修士課程)の募集人員に満たない場合は、第2次・第3次募集を行うことがあります。第2次・第3次募集実施の有無・変更は、本学ホームページにてお知らせしますので、必ず確認してください。</u>

プログラム	募 集 人 員	備 考
情報科学・データサイエンス・DX教育	5 人	1. 社会人特別選抜、自己推薦特別選抜、私費外国人留学生特別選抜の募集人員を含みます。 2. <u>本プログラムの募集人員(15人)に満たない、本専攻の募集人員(60人)に満たない、あるいは総合人間自然科学研究科(修士課程)の募集人員に満たない場合は、第2次・第3次募集を行うことがあります。第2次・第3次募集実施の有無・変更は、本学ホームページにてお知らせしますので、必ず確認してください。</u>

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び2026年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び2026年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2026年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（「大学院及び大学の専攻科の入学に関し、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（昭和28年文部省告示第5号）」により指定された者）

「独立行政法人水産大学校法による水産大学校を卒業した者」、「教育職員免許法による小学校、中学校、高等学校もしくは幼稚園の教諭もしくは養護教諭の専修免許状又は一種免許状を有する者で22歳に達した者」等
- (9) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日現在満22歳以上の者

【情報科学・データサイエンス・DX教育プログラムを志望する外国人のみ】

上記の資格を満たし、公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験（JLPT）N2以上の認定を受けている者

3 出願資格についての注意

(1) 出願資格の確認について（「出願資格(3)、(4)、(6)、(8)」の該当者）

出願前に入試課大学院担当（電話 088-844-8154）に問い合わせ、所定の手続きを確認してください。

(2) 個別の入学資格審査について（「出願資格(9)」の該当者）

「出願資格(9)」に該当する者は、主として「短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者、その他の教育施設の修了者等で、大学卒業資格を有していない者」です。これにより出願する場合は、**事前**に**入学資格審査**を行いますので、必要書類を、**第1次募集については2025年6月24日(火)までに、第2次募集については2025年11月21日(金)までに、第3次募集については2026年1月22日(木)までに**提出してください。

「出願資格(9)」の入学資格審査に必要な書類	
(ア) 入学資格審査申請書（本専攻所定の用紙）	(カ) 返信用封筒：表に住所・氏名を記入し、410円分の切手を貼った長形3号(23.5cm×12cm)の封筒 ※「本専攻所定の用紙」については、入試課大学院担当に問い合わせてください。 ※ 提出書類のうち外国語によるものは日本語の訳文を添付してください。
(イ) 最終出身学校卒業（修了）証明書	
(ウ) 最終学校の成績証明書	
(エ) 出身学校の学校概要・カリキュラム等教育課程が明らかになる資料	
(オ) 業績書及び研究計画書（本専攻所定の用紙）	
(カ) 返信用封筒：表に住所・氏名を記入し、410円分の切手を貼った長形3号(23.5cm×12cm)の封筒	
※「本専攻所定の用紙」については、入試課大学院担当に問い合わせてください。	

(3) 外国人の場合は、日本語による日常会話に支障のない者であることが必要です。

4 出願手続

(1) 出願期間

【第1次募集】 2025年7月15日(火)から7月17日(木)8時30分～17時《必着》

【第2次募集】 2025年12月16日(火)から12月18日(木)8時30分～17時《必着》

【第3次募集】 2026年2月10日(火)から2月13日(金)8時30分～17時《必着》

出願期間最終日の17時必着としますので、郵送（特定記録・速達郵便）する場合は、郵便事情を十分考慮のうえ、余裕をもって送付してください。なお、出願期間前に到着したものは、受付初日に処理します。

(2) 出願方法

次の(3)に掲げる出願書類等を一括とりそろえ、角形2号の封筒に入れ、本要項添付の「提出書類郵送あて名書き用紙」に必要事項を記入のうえ、これを封筒に全面のり付けして特定記録・速達郵便で、所定の期間内に提出してください。なお、本人が持参する場合も、必ず上記のように封筒を作成してください。

＜出願書類提出先＞ 〒780-8520 高知市曙町二丁目5番1号
高知大学学務部入試課大学院担当（電話 088-844-8154）

(3) 出願書類等

①	入学願書	本要項添付の用紙による。
②	受験票、写真票、入学検定料払込証明書、座席票	本要項添付の用紙による。 ・それぞれを切り離さないで提出すること。 ・写真票には出願前3か月以内に撮影した写真(縦4cm×横3cm、正面、上半身、無帽)を貼付すること。
③	住所シール	本要項添付の用紙による。
④	最終出身学校の卒業(修了)(見込み)証明書	出願資格(2)、(9)の該当者は提出不要。

⑤	学業成績証明書	出身大学又は最終出身学校の学長(学部長)等が作成し、厳封したもの。
⑥	志望調書	本専攻所定の用紙で、研究課題等について本人が作成したもの。
⑦	入学検定料30,000円	本要項添付の用紙を用い郵便局・ゆうちょ銀行で払込み、②の「 入学検定料払込証明書 」に「振替払込受付証明書(大学提出用)」(郵便局・ゆうちょ銀行で受付局日附印を押印してもらったもの)を貼ること。 (納入した入学検定料は、出願受付後においてはいかなる理由があっても返還しません。)
⑧	受験票送付用封筒	表に住所・氏名を記入し、410円分の切手を貼付した長形3号(23.5cm×12cm)の封筒を同封すること。(出願受付後、受験票の送付に使用します。)
⑨	(情報科学・データサイエンス・DX教育プログラムを志望する外国人のみ) 日本語能力試験(JLPT) N2以上の「 合否結果通知書 」または「 認定結果及び成績に関する証明書 」	公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験(JLPT) N2以上の「 合否結果通知書 」または「 認定結果及び成績に関する証明書 」(写)。ただし、直近3年(2023～2025年度)のものを提出すること。
<その他の必要書類> 1. 日本に在住する外国人にあつては、市区町村長の発行する住民票の写し(国籍、在留資格、期間が記載されたもの)を上記書類に加え提出してください。 2. 出願資格(2)による学士の学位を授与された者は「学位記」の写し又は学位授与証明書を提出してください。なお、見込みの者は当該「修了見込み証明書」及び「学士の学位授与申請(予定)証明書」(様式随意)を提出してください。		

(4) 出願書類提出上の注意

- ① 出願書類のうち一つでも不備のある場合には、出願書類を受け付けません。
- ② 出願書類の受付後は、書類の返還及び記載事項の変更を認めません。
- ③ **提出書類のうち外国語によるものは日本語の訳文を添付してください。**
- ④ 入学後においても、提出書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学を取り消します。
- ⑤ 出願書類の受付後は、検定料及び出願書類はいかなる理由があっても返還しません。

5 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査等(学力試験、プレゼンテーション試験及び面接)と学業成績証明書及び志望調書を総合して判定します。

(1) 学力検査日程等

【第1次募集】 2025年8月19日(火)

試 験 時 間		9 時30分～11時30分	13時30分～
コース	分野	専 門 科 目 (配点：300)	
数学物理学 コース	数学分野	微分積分学、線形代数学、集合と位相の3科目必修	面 接 (配点：100)
	物理科学 分野	物理学、物理化学の中から1科目選択	

生物科学コース		植物分類学、植物生態学、海洋植物学、細胞生物学、動物生理学、理論生物学、魚類学、動物生態学、比較生化学、古生物学から3科目選択
化学生命理工学コース		無機化学、物理化学、有機化学、分析化学、分子生物学、生化学、細胞機能学から3科目選択
地球環境防災学コース		地震学、気象学、構造地質学、テクトニクス、地震地質学、岩石学、層位学、古地磁気学、古気候学、古海洋学、斜面防災工学、構造工学、地盤工学、耐震工学、木質構造学、水理学、都市計画学から2科目選択

試験時間	13時30分～
プログラム	プレゼンテーション試験・面接 (配点：プレゼンテーション300・面接100)
情報科学・データサイエンス・DX教育プログラム	卒業研究等で行った自分の研究内容、あるいは修士入学後の研究計画・研究の抱負等を、プロジェクターを用いて発表する (1人10分～15分間) 引き続き質疑応答・面接 (合計1人30分程度) プレゼンテーション・面接は、日本語とする。 ただし、日常的に使われる日本語力を持ち、ディスカッションや研究等のより幅広い場面で使われる日本語を理解できるかを判断する。

【第2次募集】 2026年1月24日(土)

【第3次募集】 2026年2月27日(金)

試験時間		9時30分～
コース	分野	プレゼンテーション試験・面接 (配点：プレゼンテーション300・面接100)
数学物理学コース	数学分野 物理科学分野	—全コース共通— 卒業研究等で行った自分の研究内容、あるいは修士入学後の研究計画・研究の抱負等を、プロジェクターを用いて発表する。 (1人10分～15分間) 引き続き質疑応答・面接 (合計1人30分程度)
生物科学コース		
化学生命理工学コース		
地球環境防災学コース		

試験時間	13時30分～
プログラム	プレゼンテーション試験・面接 (配点：プレゼンテーション300・面接100)
情報科学・データサイエンス・DX教育プログラム	卒業研究等で行った自分の研究内容、あるいは修士入学後の研究計画・研究の抱負等を、プロジェクターを用いて発表する。 (1人10分～15分間) 引き続き質疑応答・面接 (合計1人30分程度) プレゼンテーション・面接は、日本語とする。 ただし、日常的に使われる日本語力を持ち、ディスカッションや研究等のより幅広い場面で使われる日本語を理解できるかを判断する。

(2) 受験上の注意事項

- ① 当日は、**数学物理学コース、生物科学コース、化学生命理工学コース、地球環境防災学コースは9時まで**に、**情報科学・データサイエンス・DX教育プログラムは13時まで**に**所定の集合場所へ集合してください。**
- ② 各コース・プログラム・分野が課している学力検査等を全て受験しないと合格者となりません。
- ③ 学力検査等が終了するまでは退室できません。
- ④ 第1次募集「専門科目試験」では試験開始から30分経過後、第1次募集「面接試験」、「プレゼンテーション試験・面接」及び第2次・第3次募集では試験開始後の入室・受験は認められません。
- ⑤ 試験期間中は、受験票を必ず携帯してください。
- ⑥ 机の上に置けるものは、「受験票」、「筆記用具(黒鉛筆・シャープペンシル・消しゴム)」、「時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものは不可。)」の他に、「プログラム機能を持たない関数電卓」(物理科学分野、化学生命理工学コースに限る。)のみです。試験室ではこれらのもの以外は机に出してはいけません。化学生命理工学コースは、関数電卓はコースが用意したプログラム機能のないものを配付します。
- ⑦ 携帯電話等の音の出る電子機器類は、電源を切ってかばん等に入れ、身につけないでください。
- ⑧ 受験に先立って、希望する分野の教員と入学後の研究内容に関して相談してください。
- ⑨ プレゼンテーションに関しては、別途指示がある場合があります。詳しくは希望するコース・プログラム・分野の教員に問い合わせてください。
- ⑩ 出願資格(3)に該当する者及び外国人については、別の試験内容で実施することがあります。
- ⑪ 追試験は実施しませんので、天候等により交通機関に影響が予想される場合は早めに移動してください。
- ⑫ 監督者等の指示に従わないとき、又は不正行為をしたとき、若しくはしようとしたときは、失格とします。不正行為を行った場合は警察に被害届を出す場合があります。

(3) 試験場 及び 集合場所

試験場：高知大学理工学部（高知市曙町二丁目5番1号）

集合場所：理工学部情報科学棟 共通講義室4 もしくは 共通講義室5

集合場所・注意事項については当日、「案内図」で確認してください。

（「案内図」の設置個所は高知大学朝倉キャンパス平面図（P. 40）を参照してください。）

[社 会 人 特 別 選 抜]

(昼夜開講制を伴う社会人特別選抜)

1 募集人員

コ ー ス	募 集 人 員	備 考
数学物理学 生物科学 化学生命理工学 地球環境防災学	若 干 名	1. 一般選抜の募集人員に含みます。 2. <u>本専攻の募集人員(60人)に満たない、あるいは総合人間自然科学研究科(修士課程)の募集人員に満たない場合は、第2次・第3次募集を行うことがあります。第2次・第3次募集実施の有無・変更は、本学ホームページにてお知らせしますので、必ず確認してください。</u>

プログラム	募 集 人 員	備 考
情報科学・データサイエンス・DX教育	若 干 名	1. 一般選抜の募集人員に含みます。 2. <u>本プログラムの募集人員(15人)に満たない、本専攻の募集人員(60人)に満たない、あるいは総合人間自然科学研究科(修士課程)の募集人員に満たない場合は、第2次・第3次募集を行うことがあります。第2次・第3次募集実施の有無・変更は、本学ホームページにてお知らせしますので、必ず確認してください。</u>

(注) 本専攻では社会人学生を対象に、大学院設置基準第14条の規定による教育方法の特例として、昼夜開講制を実施します。

2 昼夜開講制の趣旨及びカリキュラム等の特例

本専攻では、高度の専門性を要する職業等に必要能力を有する人材を養成するため、その運営に当たっては大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例を適用し、地域社会からの強い要請がある社会人教育の拡大に対応できるように授業及び研究指導の時間帯を夜間・土曜日及び夏季・冬季休業中にも設定し、指導教員のもとに特に綿密な履修計画を作成し、大学院修士課程としての教育水準の確保について配慮します。

また、入学試験においても、一般選抜とは別に、社会人対象の特別選抜を行います。これらにより、自己の専門能力を高め、修士(理学又は理工学)の学位を得ようとする意欲ある社会人のリカレント教育を可能とします。(社会人に対する授業時間等の特例については(P.37)をご参照ください。)

3 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で、大学卒業もしくはそれと同等の資格取得後、2026年3月31日までに2年以上の社会人としての経験を有する者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育にお

ける授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者

(7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

(8) 文部科学大臣の指定した者（「大学院及び大学の専攻科の入学に関し大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（昭和28年文部省告示第5号）」により指定された者）

「独立行政法人水産大学校法による水産大学校を卒業した者」、「教育職員免許法による小学校、中学校、高等学校もしくは幼稚園の教諭もしくは養護教諭の専修免許状又は一種免許状を有する者で22歳に達した者」等

(9) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日現在満22歳以上の者

【情報科学・データサイエンス・DX教育プログラムを志望する外国人のみ】

上記の資格を満たし、公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験（JLPT）N2以上の認定を受けている者

4 出願資格についての注意

(1) 出願資格の確認について（「出願資格(3)、(4)、(6)、(8)」の該当者）

出願前に入試課大学院担当（電話 088-844-8154）に問い合わせ、所定の手続きを確認してください。

(2) 個別の入学資格審査について（「出願資格(9)」の該当者）

「出願資格(9)」に該当する者は、主として「短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者、その他の教育施設の修了者等で、大学卒業資格を有していない者」です。これにより出願する場合は、**事前に入学者資格審査**を行いますので、必要書類を、**第1次募集**については**2025年6月24日(火)**までに、**第2次募集**については**2025年11月21日(金)**まで、**第3次募集**については**2026年1月22日(木)**までに提出してください。

「出願資格(9)」の入学資格審査に必要な書類
(ア) 入学資格審査申請書（本専攻所定の用紙） (イ) 最終出身学校卒業（修了）証明書 (ウ) 最終学校の成績証明書 (エ) 出身学校の学校概要・カリキュラム等教育課程が明らかになる資料 (オ) 業績書及び研究計画書（本専攻所定の用紙） (カ) 返信用封筒：表に住所・氏名を記入し、410円分の切手を貼った長形3号(23.5cm×12cm)の封筒 ※「本専攻所定の用紙」については、入試課大学院担当に問い合わせてください。 ※ 提出書類のうち外国語によるものは日本語の訳文を添付してください。

(3) 外国人の場合は、日本語による日常会話に支障のない者であることが必要です。

5 出願手続

(1) 出願期間

【第1次募集】 2025年7月15日(火)から7月17日(木)8時30分～17時《必着》

【第2次募集】 2025年12月16日(火)から12月18日(木)8時30分～17時《必着》

【第3次募集】 2026年2月10日(火)から2月13日(金)8時30分～17時《必着》

出願期間最終日の17時必着としますので、郵送（特定記録・速達郵便）する場合は、郵便事情を十分考慮の上、余裕をもって送付してください。なお、出願期間前に到着したものは、受付初日に処理します。

(2) 出願方法

次の(3)に掲げる出願書類等を一括とりそろえ、角形2号の封筒に入れ、本要項添付の「提出書類郵送あて名書き用紙」に必要事項を記入のうえ、これを封筒に全面のり付けして特定記録・速達郵便で、所定の期間内に提出してください。なお、本人が持参する場合も、必ず上記のように封筒を作成してください。

＜出願書類提出先＞ 〒780-8520 高知市曙町二丁目5番1号
高知大学学務部入試課大学院担当（電話 088-844-8154）

(3) 出願書類等

①	入学願書	本要項添付の用紙による。
②	受験票、写真票、入学検 定料払込証明書、座席票	本要項添付の用紙による。 ・それぞれを切り離さないで提出すること。 ・写真票には出願前3か月以内に撮影した写真(縦4cm×横3cm、正面、 上半身、無帽)を貼付すること。
③	住所シール	本要項添付の用紙による。
④	最終出身学校卒業 (修了)証明書	出願資格(2)、(9)の該当者は提出不要。
⑤	学業成績証明書	出身大学又は最終出身学校の学長(学部長)等が作成し、厳封したもの。
⑥	志望調書	本専攻所定の用紙で、研究課題等について本人が作成したもの。
⑦	入学検定料30,000円	本要項添付の用紙を用い郵便局・ゆうちょ銀行で払込み、②の「 入学検 定料払込証明書 」に「振替払込受付証明書(大学提出用)」(郵便局・ゆ うちょ銀行で受付局日附印を押印してもらったもの)を貼ること。 (納入した入学検定料は、出願受付後においてはいかなる理由があっても返 還しません。)
⑧	受験票送付用封筒	表に住所・氏名を記入し、410円分の切手を貼付した長形3号(23.5cm×12cm)の 封筒を同封すること。(出願受付後、受験票の送付に使用します。)
⑨	(情報科学・データサイエ ンス・DX教育プログラムを 志望する外国人のみ) 日本語能力試験(JLPT)N 2以上の「 合否結果通知 書 」または「 認定結果及び 成績に関する証明書 」	公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実 施する日本語能力試験(JLPT)N2以上の「 合否結果通知書 」または 「 認定結果及び成績に関する証明書 」(写)。ただし、直近3年(2023 ～2025年度)のものを提出すること。
<その他の必要書類> 1. 日本に在住する外国人にあつては、市区町村長の発行する住民票の写し(国籍、在留資格、期間が 記載されたもの)を上記書類に加え提出してください。 2. 出願資格(2)による学士の学位を授与された者は「学位記」の写し又は学位授与証明書を提出してく ださい。		

(4) 出願書類提出上の注意

- ① 出願書類のうち一つでも不備のある場合には、出願書類を受け付けません。
- ② 出願書類の受付後は、書類の返還及び記載事項の変更を認めません。
- ③ **提出書類のうち外国語によるものは日本語の訳文を添付してください。**
- ④ 入学後においても、提出書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学を取り消し
ます。
- ⑤ 出願書類の受付後は、検定料及び出願書類はいかなる理由があっても返還しません。

6 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査等（小論文及び面接）と学業成績証明書及び志望調書を総合して判定します。小論文は、日本語又は英語で解答してください。面接は、日本語で行うことを原則とします。なお、情報科学・データサイエンス・DX教育プログラムでは、小論文についても日本語で解答してください。

(1) 学力検査日程等

【第1次募集】 2025年8月19日(火)

試 験 時 間		9 時30分～11時30分 (120分)	13時30分～
コース・プログラム	分野		
数学物理学 コース	数学分野	小 論 文 (300)	面 接 (100)
	物理科学 分野		
生物科学コース			
化学生命理工学コース			
地球環境防災学コース			
情報科学・ データサイエンス・ DX教育プログラム			

【第2次募集】 2026年1月24日(土)

【第3次募集】 2026年2月27日(金)

試 験 時 間		9 時30分～11時30分 (120分)	13時30分～
コース	分野		
数学物理学 コース	数学分野	小 論 文 (300)	面 接 (100)
	物理科学 分野		
生物科学コース			
化学生命理工学コース			
地球環境防災学コース			

試 験 時 間	13時30分～15時00分 (90分)	15時30分～
プログラム		
情報科学・データサイエンス・DX教育 プログラム	小 論 文 (300)	面 接 (100)

(2) 受験上の注意事項

- ① **第1次募集当日は、9時までに所定の集合場所へ集合してください。**
第2次、第3次募集当日は、数学物理学コース、生物科学コース、化学生命理工学コース、地球環境防災学コースは9時までに、情報科学・データサイエンス・DX教育プログラムは13時までに所定の集合場所へ集合してください。
- ② 学力検査等を全て受験しないと合格者となりません。
- ③ 学力検査等が終了するまでは退室できません。
- ④ 試験開始から30分経過後の入室・受験は認められません。
- ⑤ 試験期間中は、受験票を必ず携帯してください。
- ⑥ 机の上に置けるものは、「受験票」、「筆記用具(黒鉛筆・シャープペンシル・消しゴム)」、「時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が半別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものは不可。)」のみです。試験室ではこれらのもの以外は机に出してはいけません。
- ⑦ 携帯電話等の音の出る電子機器類は、電源を切ってかばん等に入れ、身につけないでください。
- ⑧ 受験に先立って、希望する分野の教員と入学後の研究内容に関して相談してください。
- ⑨ 出願資格(3)に該当する者及び外国人については、別の試験内容で実施することがあります。
- ⑩ 追試験は実施しませんので、天候等により交通機関に影響が予想される場合は早めに移動してください。
- ⑪ 監督者等の指示に従わないとき、又は不正行為をしたとき、若しくはしようとしたときは、失格とします。不正行為を行った場合は警察に被害届を出す場合があります。

(3) 試験場 及び 集合場所

試験場：高知大学理工学部（高知市曙町二丁目5番1号）

集合場所：理工学部情報科学棟 共通講義室4 もしくは 共通講義室5

集合場所・注意事項については当日、「案内図」で確認してください。

（「案内図」の設置個所は高知大学朝倉キャンパス平面図（P. 40）を参照してください。）

[推 薦 特 別 選 抜]

1 募集人員

プログラム	募 集 人 員	備 考
情報科学・データサイエンス・DX教育	10人	推薦特別選抜の合格者が10人に満たない場合は、欠員を一般選抜の募集人員に加えます。

2 出願資格

次の（１）～（４）に該当する者

- （１） 次のいずれかに該当する者
 - ① 大学を卒業した者及び2026年３月までに卒業見込みの者
 - ② 学校教育法第104条第７項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び2026年３月までに授与される見込みの者
- （２） 学業等成績が優秀で人物・健康状態ともに良好である者
- （３） 学校長、学部長、学科長等の役職者が責任を持って推薦できる者
- （４） 合格した場合、入学することが確約できる者

3 出願手続

（１）出願期間

2025年6月17日(火)から6月19日(木)8時30分～17時《必着》

出願期間最終日の17時必着としますので、郵送（特定記録・速達郵便）する場合は、郵便事情を十分考慮のうえ、余裕をもって送付してください。なお、出願期間前に到着したものは、受付初日に処理します。

（２）出願方法

次の（３）に掲げる出願書類等を一括とりそろえ、角形２号の封筒に入れ、本要項添付の「提出書類郵送あて名書き用紙」に必要事項を記入のうえ、これを封筒に全面のり付けして特定記録・速達郵便で、所定の期間内に提出してください。なお、本人が持参する場合も、必ず上記のように封筒を作成してください。

＜出願書類提出先＞ 〒780-8520 高知市曙町二丁目５番１号
高知大学学務部入試課大学院担当（電話 088-844-8154）

（３）出願書類等

●情報科学・データサイエンス・DX教育プログラム

①	入学願書	本要項添付の用紙による。
②	受験票、写真票、入学検定料払込証明書、座席票	本要項添付の用紙による。 ・それぞれを切り離さないで提出すること。 ・写真票には出願前３か月以内に撮影した写真(縦４cm×横３cm、正面、上半身、無帽)を貼付すること。
③	住所シール	本要項添付の用紙による。
④	最終出身学校の卒業(修了)(見込み)証明書	「出願資格(１)②」の該当者は提出不要。
⑤	志願確認書	本要項添付の用紙による。
⑥	学業成績証明書	出身大学又は最終出身学校の学長(学部長)等が作成し、厳封したもの。
⑦	志望調査書	本専攻所定の用紙で、研究課題等について本人が作成したもの。
⑧	推薦書	本専攻所定の用紙で、出身学校の学校長、学部長、学科長等の役職者が作成したもの。
⑨	入学確約書	本専攻所定の用紙に記入したもの。

⑩	入学検定料30,000円	本要項添付の用紙を用い郵便局・ゆうちょ銀行に払込み、②の「入学検定料払込証明書」に「振替払込受付証明書(大学提出用)」(郵便局・ゆうちょ銀行で受付局日附印を押印してもらったもの)を貼ること。 (納入した入学検定料は、出願受付後においてはいかなる理由があっても返還しません。)
⑪	受験票送付用封筒	表に住所・氏名を記入し、410円分の切手を貼付した長形3号(23.5cm×12cm)の封筒を同封すること。(出願受付後、受験票の送付に使用します。)
<その他の必要書類> 1. 日本に在住する外国人にあつては、市区町村長の発行する住民票の写し(国籍、在留資格、期間が記載されたもの)を上記書類に加え提出してください。 2. 出願資格(1)②による学士の学位を授与された者は「学位記」の写し又は学位授与証明書を提出してください。なお、見込みの者は当該「修了見込み証明書」及び「学士の学位授与申請(予定)証明書」(様式随意)を提出してください。		

注意：出願前に希望する研究室の教員と相談し、志願確認書に受入教員が署名したものを出願時に提出してください。

(4) 出願書類提出上の注意

- ① 出願書類のうち一つでも不備のある場合には、出願書類を受け付けません。
- ② 出願書類の受付後は、書類の返還及び記載事項の変更を認めません。
- ③ **提出書類のうち外国語によるものは日本語の訳文を添付してください。**
- ④ 入学後においても、提出書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学を取り消します。
- ⑤ 出願書類の受付後は、検定料及び出願書類はいかなる理由があっても返還しません。

4 選抜方法

入学者の選抜は、面接と学業成績証明書、志望調書を総合して判定します。

(1) 学力検査日程等

2025年6月29日(日)

試 験 時 間	9 時30分～
選 抜 方 法	書類審査・面接 (配点：書類審査200・面接100)

(2) 受験上の注意事項

- ① **当日は、9時までに所定の集合場所へ集合してください。**
- ② 課している検査等を全て受験しないと合格者となりません。
- ③ 検査等が終了するまでは退室できません。
- ④ 試験開始後の入室・受験は認められません。
- ⑤ 試験期間中は、受験票を必ず携帯してください。
- ⑥ 携帯電話等の音の出る電子機器類は、電源を切ってかばん等に入れ、身につけないでください。
- ⑦ **受験に先立って、希望する領域の教員と入学後の研究内容に関して必ず相談してください。**
- ⑧ 追試験は実施しませんので、天候等により交通機関に影響が予想される場合は早めに移動してください。
- ⑨ 監督者等の指示に従わないとき、又は不正行為をしたとき、若しくはしようとしたときは、失格とします。
不正行為を行った場合は警察に被害届を出す場合があります。

(3) 試験場 及び 集合場所

試験場：高知大学理工学部（高知市曙町二丁目5番1号）

集合場所：理工学部情報科学棟 共通講義室4 もしくは 共通講義室5

集合場所・注意事項については当日、「案内図」で確認してください。

(「案内図」の設置個所は高知大学朝倉キャンパス平面図(P.40)を参照してください。)

[自 己 推 薦 特 別 選 抜]

1 募集人員

コ ー ス	募 集 人 員	備 考
数学物理学 生物科学 化学生命理工学 地球環境防災学	20 人	自己推薦特別選抜の合格者が20人に満たない場合は、欠員を一般選抜の募集人員に加えます。

プログラム	募 集 人 員	備 考
情報科学・データサイエンス・DX教育	若干名	一般選抜の募集人員に含みます。

2 出願資格

次の(1)と(2)に該当する者

(1) 次のいずれかに該当する者

- ① 大学を卒業した者及び2026年3月までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第7項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び2026年3月31日までに授与される見込みの者

(2) 合格した場合に入学することを確約できる者

3 事前審査について

事前審査を実施しないコース（数学物理学・生物科学・地球環境防災学）への出願希望者は、「4. 出願手続」以降を参照ください。

(1) 出願に先立ち、次のとおり事前審査を行います。出願を希望するコース・プログラムに従って事前審査を受けてください。

(2) 事前審査書類受理期間

2025年5月20日（火）～5月22日（木）8時30分～17時《必着》

郵送（特定記録・速達郵便）の場合は、郵便事情を十分考慮のうえ、余裕をもって送付してください。

<申請書類提出先> 〒780-8520 高知市曙町二丁目5番1号

高知大学学務部入試課大学院担当（電話 088-844-8154）

(3) 事前審査書類実施コース・プログラム及び事前審査申請書類

コース・プログラム名	必要書類	摘要
化学生命理工学コース	学業成績証明書	出身大学又は最終出身学校の学長(学部長)等が作成し、厳封したもの。
	志望調書(事前審査用)	受験生サイトよりダウンロードして作成したもの。
情報科学・データサイエンス・DX教育プログラム	研究計画書(事前審査用)	受験生サイトよりダウンロードして作成したもの。
	事前審査申請書	受験生サイトよりダウンロードして作成したもの。
	返信用封筒(事前審査用)	表に住所・氏名を記入し410円分の切手を貼付した長形3号(23.5cm×12cm)の封筒を同封すること。(事前審査結果通知に使用します。)

注1：志望調書、研究計画書、返信用封筒は、必ず(事前審査用)と付してあるものを使用してください。

注2：事前審査申請書類を提出する前に希望する研究室の教員あるいはコース・プログラム学務委員に相談してください。

注3：提出書類のうち外国語によるものは日本語の訳文を添付してください。

(4) 事前審査結果通知：2025年6月6日(金)発送で全員に郵送により通知します。電話による照会には応じません。

※なお、事前審査に不合格となった場合でも、改めて一般選抜に出願することができます。

4 出願手続

事前審査実施コース・プログラムと事前審査の無いコースでは、出願書類が異なりますので、注意してください。
事前審査実施コース・プログラムの出願希望者は、事前審査を通過した者に限り出願書類を受理します。

(1) 出願期間

2025年6月17日(火)から6月19日(木)8時30分～17時<必着>

出願期間最終日の17時必着としますので、郵送（特定記録・速達郵便）する場合は、郵便事情を十分考慮のうえ、余裕をもって送付してください。なお、出願期間前に到着したものは、受付初日に処理します。

(2) 出願方法

次の(3)に掲げる出願書類等を一括とりそろえ、角形2号の封筒に入れ、本要項添付の「提出書類郵送あて名書き用紙」に必要事項を記入のうえ、これを封筒に全面のり付けして特定記録・速達郵便で、所定の期間内に提出してください。なお、本人が持参する場合も、必ず上記のように封筒を作成してください。

＜出願書類提出先＞ 〒780-8520 高知市曙町二丁目5番1号
高知大学学務部入試課大学院担当（電話 088-844-8154）

(3) 出願書類等

●数学物理学コース・生物科学コース・地球環境防災学コース（事前審査の無いコース）

①	入学願書	本要項添付の用紙による。
②	受験票、写真票、入学検定料払込証明書、座席票	本要項添付の用紙による。 ・それぞれを切り離さないで提出すること。 ・写真票には出願前3か月以内に撮影した写真(縦4cm×横3cm、正面、上半身、無帽)を貼付すること。
③	住所シール	本要項添付の用紙による。
④	最終出身学校の卒業(修了)(見込み)証明書	「出願資格(1)②」の該当者は提出不要。
⑤	志願確認書	本要項添付の用紙による。
⑥	学業成績証明書	出身大学又は最終出身学校の学長(学部長)等が作成し、厳封したもの。
⑦	志望調書	本専攻所定の用紙で、研究課題等について本人が作成したもの。
⑧	自己推薦書	受験生自身が本専攻所定の用紙に記入したもの。
⑨	入学確約書	本専攻所定の用紙に記入したもの。
⑩	入学検定料30,000円	本要項添付の用紙を用い郵便局・ゆうちょ銀行に払込み、②の「入学検定料払込証明書」に「振替払込受付証明書(大学提出用)」(郵便局・ゆうちょ銀行で受付局日附印を押印してもらったもの)を貼ること。 (納入した入学検定料は、出願受付後においてはいかなる理由があっても返還しません。)
⑪	受験票送付用封筒	表に住所・氏名を記入し410円分の切手を貼付した長形3号(23.5cm×12cm)の封筒を同封すること。(出願受付後、受験票の送付に使用します。)
<その他の必要書類> 1. 日本に在住する外国人にあつては、市区町村長の発行する住民票の写し(国籍、在留資格、期間が記載されたもの)を上記書類に加え提出してください。 2. 出願資格(1)②による学士の学位を授与された者は「学位記」の写し又は学位授与証明書を提出してください。なお、見込みの者は当該「修了見込み証明書」及び「学士の学位授与申請(予定)証明書」(様式随意)を提出してください。		

注意：事前審査の無いコースへの出願希望者については、出願前に希望する研究室の教員と相談し、志願確認書に受入教員が署名したものを出願時に提出してください。

●化学生命理工学コース、情報科学・データサイエンス・DX教育プログラム（事前審査実施コース・プログラム）

上記の出願書類のうち、①入学願書、②受験票・写真票・入学検定料払込証明書・座席票、③住所シール、④最終出身学校の卒業(修了)(見込み)証明書、⑧自己推薦書、⑨入学確約書、⑩入学検定料 30,000円、⑪受験票送付用封筒 を提出してください。

(4) 出願書類提出上の注意

- ① 出願書類のうち一つでも不備のある場合には、出願書類を受け付けません。
- ② 出願書類の受付後は、書類の返還及び記載事項の変更を認めません。
- ③ **提出書類のうち外国語によるものは日本語の訳文を添付してください。**
- ④ 入学後においても、提出書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学を取り消します。
- ⑤ 出願書類の受付後は、検定料及び出願書類はいかなる理由があっても返還しません。

5 選抜方法

入学者の選抜は、口頭試問及び面接と学業成績証明書、志望調書及び自己推薦書を総合して判定します。

(1) 学力検査日程等

2025年6月29日(日)

試 験 時 間		9 時30分～
コ ー ス・プログラム	分 野	口頭試問・面接 (配点：口頭試問300、面接100)
数学物理学コース	数学分野	—全コース・プログラム共通— 口頭試問・面接 (合計1人20分～30分程度)
	物理科学分野	
生物科学コース		
化学生命理工学コース		
地球環境防災学コース		
情報科学・ データサイエンス・ DX教育プログラム		

(2) 受験上の注意事項

- ① **当日は、9時までに所定の集合場所へ集合してください。**
- ② 各コース・プログラム・分野が課している検査等を全て受験しないと合格者となりません。
- ③ 検査等が終了するまでは退室できません。
- ④ 試験開始後の入室・受験は認められません。
- ⑤ 試験期間中は、受験票を必ず携帯してください。
- ⑥ 携帯電話等の音の出る電子機器類は、電源を切ってかばん等に入れ、身につけないでください。
- ⑦ **受験に先立って、希望する分野の教員と入学後の研究内容に関して必ず相談してください。**
- ⑧ 追試験は実施しませんので、天候等により交通機関に影響が予想される場合は早めに移動してください。
- ⑨ 監督者等の指示に従わないとき、又は不正行為をしたとき、若しくはしようとしたときは、失格とします。
不正行為を行った場合は警察に被害届を出す場合があります。

(3) 試験場 及び 集合場所

試験場：高知大学理工学部（高知市曙町二丁目5番1号）

集合場所：理工学部情報科学棟 共通講義室4 もしくは 共通講義室5

集合場所・注意事項については当日、「案内図」で確認してください。

（「案内図」の設置個所は高知大学朝倉キャンパス平面図（P.40）を参照してください。）

[私費外国人留学生特別選抜]

1 募集人員

コ ー ス	募 集 人 員	備 考
数学物理学 生物科学 化学生命理工学 地球環境防災学	若干名	1. 一般選抜の募集人員に含まれます。 2. <u>本専攻の募集人員(60人)に満たない、あるいは総合人間自然科学研究科(修士課程)の募集人員に満たない場合は、第2次・第3次募集を行うことがあります。第2次・第3次募集実施の有無・変更は、本学ホームページにてお知らせしますので、必ず確認してください。</u>

プログラム	募 集 人 員	備 考
情報科学・データサイエンス・DX教育	若干名	1. 一般選抜の募集人員に含まれます。 2. <u>本プログラムの募集人員(15人)に満たない、本専攻の募集人員(60人)に満たない場合、あるいは総合人間自然科学研究科(修士課程)の募集人員に満たない場合は、第2次・第3次募集を行うことがあります。第2次・第3次募集実施の有無・変更は、本学ホームページにてお知らせしますので、必ず確認してください。</u>

2 出願資格

日本国籍及び日本における永住資格を有しない者で、次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び2026年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び2026年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2026年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（「大学院及び大学の専攻科の入学に関し、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（昭和28年文部省告示第5号）」により指定された者）

「独立行政法人水産大学校法による水産大学校を卒業した者」、「教育職員免許法による小学校、中学校、高等学校もしくは幼稚園の教諭もしくは養護教諭の専修免許状又は一種免許状を有する者で22歳に達した者」等
- (9) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日現在満22歳以上の者

【情報科学・データサイエンス・DX教育プログラムのみ】

上記の資格を満たし、公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験（JLPT）N2以上の認定を受けている者

3 出願資格についての注意

(1) 出願資格の確認について（「出願資格(3)、(4)、(6)、(8)」の該当者）

出願前に入試課大学院担当（電話 088-844-8154）に問い合わせ、所定の手続きを確認してください。

(2) 個別の入学資格審査について（「出願資格(9)」の該当者）

「出願資格(9)」に該当する者は、主として「短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者、その他の教育施設の修了者等で、大学卒業資格を有していない者」です。これにより出願する場合は、**事前に入学資格審査**を行いますので、必要書類を、**第1次募集については2025年6月24日(火)までに、第2次募集については2025年11月21日(金)までに、第3次募集については2026年1月22日(木)までに**提出してください。

「出願資格(9)」の入学資格審査に必要な書類	
(ア) 入学資格審査申請書（本専攻所定の用紙）	(イ) 最終出身学校卒業（修了）証明書 (ウ) 最終学校の成績証明書 (エ) 出身学校の学校概要・カリキュラム等教育課程が明らかになる資料 (オ) 業績書及び研究計画書（本専攻所定の用紙） (カ) 返信用封筒：表に住所・氏名を記入し、410円分の切手を貼った長形3号(23.5cm×12cm)の封筒 ※「本専攻所定の用紙」については、入試課大学院担当に問い合わせてください。 ※ 提出書類のうち外国語によるものは日本語の訳文を添付してください。
(イ) 最終出身学校卒業（修了）証明書	
(ウ) 最終学校の成績証明書	
(エ) 出身学校の学校概要・カリキュラム等教育課程が明らかになる資料	
(オ) 業績書及び研究計画書（本専攻所定の用紙）	
(カ) 返信用封筒：表に住所・氏名を記入し、410円分の切手を貼った長形3号(23.5cm×12cm)の封筒	
※「本専攻所定の用紙」については、入試課大学院担当に問い合わせてください。	

※ 提出書類のうち外国語によるものは日本語の訳文を添付してください。

(3) 日常生活が営める程度の日本語力を持つ者であることが必要です。

4 出願手続

(1) 出願期間

【第1次募集】 2025年7月15日(火)から7月17日(木)8時30分～17時《**必着**》

【第2次募集】 2025年12月16日(火)から12月18日(木)8時30分～17時《**必着**》

【第3次募集】 2026年2月10日(火)から2月13日(金)8時30分～17時《**必着**》

出願期間最終日の17時必着としますので、郵送（特定記録・速達郵便）する場合は、郵便事情を十分考慮のうえ、余裕をもって送付してください。なお、出願期間前に到着したものは、受付初日に処理します。

(2) 出願方法

次の(3)に掲げる出願書類等を一括とりそろえ、角形2号の封筒に入れ、本要項添付の「提出書類郵送あて名書き用紙」に必要事項を記入のうえ、これを封筒に全面的り付けして特定記録・速達郵便で、所定の期間内に提出してください。なお、本人が持参する場合も、必ず上記のように封筒を作成してください。

＜出願書類提出先＞ 〒780-8520 高知市曙町二丁目5番1号
高知大学学務部入試課大学院担当（電話 088-844-8154）

(3) 出願書類等

①	入学願書	本要項添付の用紙による。
②	受験票、写真票、入学検定料払込証明書、座席票	本要項添付の用紙による。 ・それぞれを切り離さないで提出すること。 ・写真票には出願前3か月以内に撮影した写真(縦4cm×横3cm、正面、上半身、無帽)を貼付すること。
③	住所シール	本要項添付の用紙による。
④	最終出身学校の卒業(修了)(見込み)証明書	出願資格(2)、(9)の該当者は提出不要。
⑤	学業成績証明書	出身大学又は最終出身学校の学長(学部長)等が作成し、厳封したもの。
⑥	志望調書	本専攻所定の用紙で、研究課題等について本人が作成したもの。

⑦	入学検定料30,000円	本要項添付の用紙を用い郵便局・ゆうちょ銀行で払込み、②の「 入学検定料払込証明書 」に「振替払込受付証明書(大学提出用)」(郵便局・ゆうちょ銀行で受付局日附印を押印してもらったもの)を貼ること。 (納入した入学検定料は、出願受付後においてはいかなる理由があっても返還しません。)
⑧	受験票送付用封筒	表に住所・氏名を記入し、410円分の切手を貼付した長形3号(23.5cm×12cm)の封筒を同封すること。(出願受付後、受験票の送付に使用します。)
⑨	(情報科学・データサイエンス・DX教育プログラムのみ) 日本語能力試験(JLPT) N2以上の「 合否結果通知書 」または「 認定結果及び成績に関する証明書 」	公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験(JLPT) N2以上の「 合否結果通知書 」または「 認定結果及び成績に関する証明書 」(写)。ただし、直近3年(2023～2025年度)のものを提出すること。
<その他の必要書類> 1. 日本に在住する外国人にあつては、市区町村長の発行する住民票の写し(国籍、在留資格、期間が記載されたもの)を上記書類に加え提出してください。 2. 出願資格(2)による学士の学位を授与された者は「学位記」の写し又は学位授与証明書を提出してください。なお、見込みの者は当該「修了見込み証明書」及び「学士の学位授与申請(予定)証明書」(様式随意)を提出してください。		

(4) 出願書類提出上の注意

- ① 出願書類のうち一つでも不備のある場合には、出願書類を受け付けません。
- ② 出願書類の受付後は、書類の返還及び記載事項の変更を認めません。
- ③ **提出書類のうち外国語によるものは日本語の訳文を添付してください。**
- ④ 入学後においても、提出書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学を取り消します。
- ⑤ 出願書類の受付後は、検定料及び出願書類はいかなる理由があっても返還しません。

5 選抜方法

入学者の選抜は、プレゼンテーション試験及び面接と学業成績証明書、志望調書を総合して判定します。

【第1次募集】 2025年8月19日(火)

試 験 時 間		9 時30分～
コース	分 野	プレゼンテーション試験・面接 (配点：プレゼンテーション300・面接100)
数学物理学コース	数学分野	—全コース共通— 卒業研究等で行った自分の研究内容、あるいは修士入学後の研究計画・研究の抱負等を、プロジェクターを用いて発表する。 (1人10分～15分間) 引き続き質疑応答・面接 (合計1人30分程度) プレゼンテーション・面接は、日本語または英語とする。 ただし、面接時に日常生活が営める程度の日本語力を持つかを判断する。
	物理科学分野	
生物科学コース		
化学生命理工学コース		
地球環境防災学コース		

【第1次募集】 2025年8月19日(火)

試 験 時 間	13時30分～
プログラム	プレゼンテーション試験・面接 (配点：プレゼンテーション300・面接100)
情報科学・データサイエンス・DX教育 プログラム	卒業研究等で行った自分の研究内容、 あるいは修士入学後の研究計画・研究の抱負等を、 プロジェクターを用いて発表する。 (1人10分 ～ 15分間) 引き続き質疑応答・面接 (合計1人30分程度) プレゼンテーション・面接は、日本語とする。 ただし、日常的に使われる日本語力を持ち、ディスカッ ションや研究等のより幅広い場面で使われる日本語を理解 できるかを判断する。

【第2次募集】 2026年1月24日(土)

【第3次募集】 2026年2月27日(金)

試 験 時 間		9 時30分～
コース	分 野	プレゼンテーション試験・面接 (配点：プレゼンテーション300・面接100)
数学物理学コース	数学分野	—全コース共通— 卒業研究等で行った自分の研究内容、 あるいは修士入学後の研究計画・研究の抱負等を、 プロジェクターを用いて発表する。 (1人10分 ～ 15分間) 引き続き質疑応答・面接 (合計1人30分程度) プレゼンテーション・面接は、日本語または英語とする。 ただし、面接時に日常生活が営める程度の日本語力を持つ かを判断する。
	物理科学分野	
生物科学コース		
化学生命理工学コース		
地球環境防災学コース		

【第2次募集】 2026年1月24日(土)

【第3次募集】 2026年2月27日(金)

試 験 時 間	13時30分～
プログラム	プレゼンテーション試験・面接 (配点：プレゼンテーション300・面接100)
情報科学・データサイエンス・DX教育 プログラム	卒業研究等で行った自分の研究内容、 あるいは修士入学後の研究計画・研究の抱負等を、 プロジェクターを用いて発表する。 (1人10分～15分間) 引き続き質疑応答・面接 (合計1人30分程度) プレゼンテーション・面接は、日本語とする。 ただし、日常的に使われる日本語力を持ち、ディスカッ ションや研究等のより幅広い場面で使われる日本語を理解 できるかを判断する。

(2) 受験上の注意事項

- ① 当日は、数学物理学コース、生物科学コース、化学生命理工学コース、地球環境防災学コースは9時までに、情報科学・データサイエンス・DX教育プログラムは13時までに所定の集合場所へ集合してください。
- ② 各コース・プログラム・分野が課している試験等を全て受験しないと合格者となりません。
- ③ 面接等が終了するまでは退室できません。
- ④ 試験開始後の入室・受験は認められません。
- ⑤ 試験期間中は、受験票を必ず携帯してください。
- ⑥ 携帯電話等の音の出る電子機器類は、電源を切ってかばん等に入れ、身につけないでください。
- ⑦ 受験に先立って、希望する分野の教員と入学後の研究内容に関して相談してください。
- ⑧ プレゼンテーションに関しては、別途指示がある場合があります。詳しくは希望するコース・プログラム・分野の教員に問い合わせてください。
- ⑨ 追試験は実施しませんので、天候等により交通機関に影響が予想される場合は早めに移動してください。
- ⑩ 監督者等の指示に従わないとき、又は不正行為をしたとき、若しくはしようとしたときは、失格とします。不正行為を行った場合は警察に被害届を出す場合があります。

(3) 試験場 及び 集合場所

試験場：高知大学理工学部（高知市曙町二丁目5番1号）

集合場所：理工学部情報科学棟 共通講義室4 もしくは 共通講義室5

集合場所・注意事項については当日、「案内図」で確認してください。

（「案内図」の設置個所は高知大学朝倉キャンパス平面図（P. 40）を参照してください。）

[合格者発表・入学手続等]

1 合格者発表

- (1) 推薦特別選抜及び自己推薦特別選抜については2025年7月8日(火)、第1次募集については2025年9月5日(金)、第2次募集については2026年2月10日(火)、第3次募集については2026年3月9日(月)に、合格者本人あて(住所シールに記載された場所)に合格通知書を特定封筒郵便(レターパックライト)で発送します。
- (2) ホームページ上でも合格者発表を行います。情報提供サービスの一環として行うものです。必ず合格通知書をもって確認してください。(高知大学受験生サイト <https://nyusi.kochi-u.jp/>)
- (3) 電話等による問い合わせには一切応じません。

2 入学手続等

入学に際し必要な書類を、推薦特別選抜合格者及び自己推薦特別選抜合格者、第1次募集合格者については1月下旬に、第2次・第3次募集合格者については合格通知書とともに発送を予定しています。

(1) 手続期間

【推薦特別選抜合格者、自己推薦特別選抜合格者、第1次募集合格者、第2次募集合格者】

2026年3月4日(水)8時30分から3月6日(金)17時《必着》

【第3次募集合格者】

2026年3月17日(火)8時30分から3月18日(水)17時《必着》

手続場所は高知大学学務部入試課を予定しています。

(2) 入学手続書類

- ① 宣誓書(本専攻所定の様式)
- ② 学資負担者届(本専攻所定の様式)
- ③ 住民票記載事項証明書(本専攻所定の様式)
- ④ 身上調書(本専攻所定の様式、縦4cm×横3cmの写真を貼付)
- ⑤ 学生証交付願(本専攻所定の様式、縦4cm×横3cmの写真を貼付)
- ⑥ 同意確認書(本専攻所定の様式)
- ⑦ 最終学校の卒業(修了)証明書(高知大学卒業生は不要)又は在学期間証明書(既に提出の場合は不要)
- ⑧-1 安全保障輸出管理に関する誓約書
- ⑧-2 外国為替及び外国貿易法第25条第1項及び第2項の遵守のための特定類型該当性に関する誓約書

(3) 入学料及び授業料

- ① 入学料 282,000円
- ② 授業料 第1学期分267,900円(年額535,800円)

○ 注意事項

- 1) 入学料は、入学手続時に納付してください。

授業料は、第1学期分は5月中、第2学期分は11月中に本学指定の金融機関からの口座引き落としとなります。

- 2) 入学料の免除又は徴収猶予を希望する者は、合格者に送付する入学者の手引に従って手続きを行ってください。なお、授業料についても免除制度及び徴収猶予制度があります。入学料・授業料の納付後は、免除等申請ができません。

＜問い合わせ先＞高知大学学務部学生支援課経済支援係(電話 088-844-8146)

- 3) 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。
- 4) 入学料免除及び徴収猶予の申請者が、本学の入学手続きを完了した後に入学を辞退する場合は、ただちに入学料を納付しなければなりません。
- 5) 入学料及び授業料について改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料が適用されます。

[そ の 他]

1 障害等のある者の出願

障害等のある入学志願者で、受験上の配慮及び修学上の支援を必要とする場合は、出願に先立ち、以下の方法により本学と事前相談を行うことが可能です。なお、相談内容によっては、対応に時間を要する場合や対応できない場合もありますので、出願前のできるだけ早い時期に相談してください。

修学支援の方法や内容は、障害の種類や修学環境等によって異なってきますが、少なくともどのような支援が必要になるかを把握しておくことで、入学後の対応をスムーズに進めることができます。本学では、障害学生の修学支援対応の準備時間はできるだけ多くあった方がよいとの観点から、出願前のできるだけ早い時期に、修学上の支援についてご相談いただくことを推奨しています。

(1) 事前相談の時期

【推薦特別選抜及び自己推薦特別選抜】	2025年6月12日(木)まで
【第1次募集】	2025年6月24日(火)まで
【第2次募集】	2025年11月21日(金)まで
【第3次募集】	2026年1月22日(木)まで

※ 上記期限以降に理由が生じた場合や、受験後に修学上の支援について相談したいなどの場合には期限以降でもご相談ください。

(2) 事前相談の方法

受験上の配慮・修学上の支援に関する事前相談の手順は、以下の①～⑤に従って進めてください。

※ 日常生活において、補聴器、松葉杖、車椅子等を使用している場合についても、試験における配慮の必要上、必ず事前相談してください。

① 電話もしくはメールによる相談

具体的に本学の受験を考える前の段階でも、受験上の配慮については(3)①の連絡先で、修学上の支援については(3)②に記載のインクルージョン支援推進室で、随時、電話・メール等による相談を受け付けています。

② 「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」等の必要書類について

障害等のある入学志願者で、受験上の配慮を必要とする場合や、入学後、修学上の支援を希望する場合は、①による相談の上、本学で対応可能な措置や申請にあたり、以下の書類を準備してください。

- ・本学所定の「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」
- ・医師の診断書（可能な限り発行後3か月以内のもの）原本
- ・身体障害者手帳の写し（取得者のみ）

上記必要書類一式を、(1)事前相談の時期までのできるだけ早い時期までに持ち揃え、(3)①の連絡先まで提出してください。

※「本学所定の様式」等は、高知大学受験生サイト(<https://nyusi.kochi-u.jp/daigakuin/hairyo>)より、ダウンロードおよび印刷してご使用ください。（重複した障害や様式にあてはまらない障害のある方は、障害等の状況を伝えやすい申請書様式を利用してください。）
提出書類一式は、ご自身にてコピーを取ることをお勧めします。

③ 「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」への文書による回答

「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」をご提出いただくことにより、本学での対応について具体

的な検討を開始します。進路選択の参考になるよう、出願時までに配慮・支援の内容を検討し、入試課から文書によって回答を発送します。内容によっては、出願時までに回答できない場合や、必ずしも希望内容の全てに対応できない場合もありますので、ご了承ください。

④ 必要に応じて個別面談

必要に応じて、本学において志願者又はその立場を代弁できる関係者等と直接面談を行います。

⑤ その他

「相談の期限」（１）事前相談の時期 参照）以降に、受験上の配慮を要する理由が生じた場合は、期限以降でも（３）①の連絡先へご相談ください。また、受験後に修学上の支援について相談したいなどの場合には、（３）②に記載のインクルージョン支援推進室までご相談ください。修学上の支援が必要かどうかの意思確認を行い、必要であればその内容を一緒に考えますので、できるだけ早期の連絡を推奨します。

（３） 連絡先

① 高知大学学務部入試課

〒780-8520 高知市曙町二丁目５番１号
TEL. 088-844-8154 FAX. 088-844-8147

② インクルージョン支援推進室に関する情報ならびに本学の障害者支援について

○高知大学学び創造センター学生支援部門 インクルージョン支援推進室

〒780-8520 高知市曙町二丁目５番１号
TEL 088-888-8037

E-mail shugakushien@kochi-u.ac.jp

URL: https://www.kochi-u.ac.jp/facilities/gakusei-shien/preuniversity_students/resources.html

（参考）

※ 受験上の配慮の例

- ・自家用車での入構、駐車場の使用
- ・別室受験
- ・試験室をトイレ又は障害者用トイレの近くに設定
- ・座席を最前列、最後列、出入り口付近に設定
- ・介助者の試験室付近までの同伴、介助者控室の準備
- ・試験時間の延長
- ・車椅子、松葉杖の使用
- ・車椅子用機の準備
- ・補聴器の使用
- ・注意事項等の文書による伝達
- ・拡大鏡の使用
- ・問題冊子、解答用紙の拡大

※ 修学上の支援の例（全ての支援を確約するものではありません）

（これまでに高知大学として行った支援の例）

- ・欠席時の代替課題
- ・授業内支援（ICレコーダー使用・指示内容視覚化・資料配付・途中退室許可）
- ・教室環境（換気、教室変更）
- ・移動支援（別移動手段）
- ・試験の別室受験・支援機器利用許可

- ・スケジュール管理サポート
- ・段差にスロープ設置
- ・教室に近い場所に送迎車の駐車スペース確保
(想定される支援の例)
- ・書類提出における介助者代筆許可
- ・聴覚障害等のある学生へのノートテイクなどの情報保障
- ・視覚障害のある学生への電子ファイルや点字・拡大資料提供
- ・リスニングが難しい学生についての他の形態の授業代替
- ・教育実習、病棟実習等の実習授業における実習施設の事前見学
- ・授業、講習、行事等での休憩の許可、休憩時間の延長許可

2 奨学金

日本学生支援機構奨学生として選考のうえ、「大学院第一種奨学金」、大学院修士課程段階における「授業料後払い制度」、「大学院第二種奨学金」として貸与される奨学金があります。(留学生は除きます。)

＜問い合わせ先＞高知大学学務部学生支援課経済支援係（電話 088-844-8565）

3 その他

(1) 個人情報の取扱いについて

「個人情報の保護に関する法律」に基づき、本学入学者選抜に用いた個人情報については、入学手続、入学者選抜・修学等に係る調査・研究等及び修学に係る用途にのみ使用し、他の目的に利用、又は提供することはありません。

なお、合格者に限り、入学後の修学に係る学生サービス及び卒業後のコミュニティ醸成のために、合格者本人の同意を得たうえで、出願時に提出いただいた「住所シール」を理工学部・理学部同窓会・後援会に提供することを御了承願います。

(2) 募集要項に関して不明な点は、入試課大学院担当に照会してください。

※郵送による照会は、返信用封筒（定形・速達料分の切手を貼付）を同封してください。

＜問い合わせ先＞

〒780-8520 高知市曙町二丁目5番1号
高知大学学務部入試課大学院担当
(電話 088-844-8154)

高知大学ホームページ

アドレス : <https://www.kochi-u.ac.jp/>

各コース・プログラムの研究内容の概要

(2025年7月現在)

1 数学物理学コース

数学物理学コースでは、理工系すべての科学・技術分野の基礎と位置づけられる数学及び物理科学を専門的に教育します。本コースは、数学理論の構築や、数学論理の新展開をめざす「数学分野」と物質を階層的に構成する素粒子・原子核・原子・固体・宇宙や、物質の物性・構造・機能を研究する「物理科学分野」を擁します。得られる学位は、修士（理学）です。

コース	分野	領域	研究内容	担当教員
数 学 物 理 学	数 学	解 析 学	偏微分方程式論、特に分散型偏微分方程式の解析、あるいはそれに関連する実解析学や幾何解析学などの教育研究を行います。	小野寺 栄治
		幾 何 学	空間(図形)などの幾何学的対象の位相構造や幾何的な構造についての教育研究を行います。例えば、分子の立体構造、準結晶の数理論である配置空間やタイル貼りを研究する幾何の数理論に取り組むこともできます。	小松 和志
		代 数 学	自然現象の背後に潜む対称性などの基本的な事から構造を抽出して展開する群論をはじめ、方程式の解空間を対象として取り扱う代数幾何学やその函数環の研究として局所構造の基礎付けを与える可換環論など代数構造の解明を目指します。これらの研究対象を学ぶ過程において、代数的思考法の獲得、特に普遍性の概念を使いこなす事を目指し、更なる研究発展の基礎とします。	福間 慶明 土基 善文
		確 率 論 ・ 統 計 学	不確実な要因を含むシステムに対する統計的モデルの構築を行い、その特性を分析する推定論・検定論の研究を行います。データ解析を実施するための理論と手法について、数値計算も含めた検討を進めます。また、確率論・確率過程に関して、浸透モデルのような相転移を含む問題や、不均一な環境下でのランダムウォーク等の理論的な解明に取り組みます。	野村 昇 三角 淳
	物 理 科 学	理 論 物 理 学	凝縮系物質や原子核、ハドロン物質、クォーク物質などの量子多体系のもつ物理的性質について理論的立場から教育研究を行います。量子多体系全般に対する取扱いや、ハドロン物理学の基礎理論である量子色力学 (QCD) の種々の有効模型によるアプローチなど量子多体系に対する様々な理論的手法に関する教育研究を行います。	津江 保彦 仲野 英司 斎藤 卓也 石黒 克也
		宇 宙 線 ・ 宇 宙 物 理 学	宇宙線観測から得られる宇宙物理学の情報や素粒子相互作用との関係、宇宙線観測装置と放射線計測に関する専門知識とデータ解析技術、電磁波理論、応用電磁気学、電磁波計測における回路技術、電磁現象に関して、スペクトル解析を中心とした波形データ処理などの教育研究を行います。	祖谷 元
		物 性 物 理 学	固体の磁気的状態である常磁性、様々な秩序磁性、金属磁性、及びそれらの間の磁気相転移等の磁気的性質や、高温超伝導体を含めた超伝導体中の電子状態と超伝導出現機構との関係などの固体中の多電子系が示す特徴的な諸物性の起源に関して巨視的、微視的立場から教育研究を行います。	西岡 孝 加藤 治一
		物 性 化 学	イオン伝導やガスの吸収・放出、発光などの機能を示す酸化物(機能性セラミックス)を対象とし、合成及び物性評価による体系的な教育研究を行います。固相反応、溶液反応により合成した試料の結晶構造を解明し、電気化学・化学熱力学・分光学的な特性を評価するとともに、その応用面についても体系的な教育研究を行います。	島内 理恵 藤代 史

2 生物科学コース

生物科学コースでは、生物多様性をもたらす適応進化とその駆動力となる生物間相互作用や環境の成り立ち・仕組み、生物多様性を支える生命機構を理解し、マクロ・ミクロの両面から生物科学の全体を教育し、地域に根ざした『生物多様性』と生物を胚胎する『環境』の保全を担える人材を育成します。得られる学位は、修士（理学）です。

コース	領 域	研 究 内 容	担当教員
生 物 科 学	植 物 分 類 学	蘚苔類及び地衣類の系統分類学的研究を行うとともに、四国地方を中心としたフロラを明らかにし、東アジアのフロラとの関連性を植物地理学的に検討します。種子植物の分類学及び地理学に関する文献学、野外調査法、試料の解析法などの基礎的な教育・研究と、稀少植物の保全・有用植物資源の開発や植物に関する社会教育などの応用についての教育・研究を行います。	岡本 達哉 片桐 知之 藤川 和美 瀬尾 明弘
	海 洋 生 物 学	西部太平洋域から世界の海洋における動物相を空間的ならびに時間的に展望します。魚類に関しては、これまでに蓄積された多数の標本を十分に活用すると同時に、国内外の研究施設と連携し、世界レベルでの分類学と動物地理学を目指すとともに、更に、機能形態学と分子系統学を加味した系統進化学に重点を置いた研究を進めます。生態学的分野では、海洋生態系における低次栄養段階生物としても重要なマクロベントスの生態、長期的動態を明らかにします。また、ウミガメ等の絶滅危惧種の生態調査から生活史解明を目指すとともに、その保全を見据えた実践的教育研究を行います。	遠藤 広光 斉藤 知己 中山 直英 伊谷 行
	植 物 生 態 学	植物化石群（主に花粉化石）の産状をもとに第四紀の植生や環境の変動を明らかにするとともに、植物の分布・生活様式と植物群落の成立過程・構造・動態の解明と生物多様性の保全、さらに海藻類の生理生態学的な研究と生活史に関する教育・研究を行います。	三宅 尚 比嘉 基紀 平岡 雅規
	理 論 生 物 学	ヒトを含めた山・川・海の生物や生命現象を対象に、数学や野外調査を通して生態系のしくみを探る教育・研究を行います。	加藤 元海
	古 生 物 学	古生物の進化と地球環境の変動とを一体的に理解することを目指します。古生物学分野で伝統的に行われてきた記載分類の基礎に立脚しながら、堆積学やタフオノミーの研究成果を生かして、顕生累代における化石群集の変遷を明らかにします。また、古生物の進化・絶滅・生態に与えた環境変動の役割を解明します。特に、海域の底生動物やそれらがつくる生痕に重点を置いて研究を行い、フィールドワークを重視した教育研究を行います。	奈良 正和
	分子古生物学	単細胞の真核生物の中で、特にバイオミネラルを形成し化石となる生物を対象とし、遺伝子・化石双方の分析／解析から生物進化を解明することを目指します。ゲノム・遺伝子発現解析による進化・代謝機構、遺伝子マーカー・化石個体分布による生物地理分布から紐解く遺伝的交流の解明などに焦点を当てています。フィールドワーク／室内実験いずれも含めた教育・研究を行います。	氏家 由利香
	比 較 生 化 学	遺伝子の分析や解析の技術、遺伝子の構造と機能の関係、酵素の機能中心と基質の構造生物学的関係、塩基配列の進化と機能進化に関する教育研究を行います。	宇田 幸司
	動 物 生 理 学	原生動物に関して、細胞の構造と機能に焦点を当て、細胞の存在様式の多様性を時間的ならびに空間的に考察します。環境シグナルの受容から細胞応答（休眠シスト形成、行動など）に至る細胞内シグナリングの分子機構と細胞構築機構の解明、及び細胞運動に関与する分子の解明を目指します。	有川 幹彦
	細 胞 生 物 学	単細胞と多細胞の藻類を対象とし、細胞の構造と機能に焦点を当て、細胞の存在様式の多様性を時間的ならびに空間的に考察します。細胞の微細構造を主な対象とし、生合成と分子構築の過程を検討することにより、藻類の細胞構造の進化を考察します。同時に、生殖・発生・成長・分化・老化、形態形成で発現する細胞骨格系の動態に関する教育研究を行います。	峯 一郎 関田 諭子

3 化学生命理工学コース

化学生命理工学コースは、理学系の基礎化学と基礎生命科学から、理工学系の合成化学、機能性材料化学、応用生命科学までの領域を含む教育研究を行うことで、化学・応用化学分野と生命科学分野の幅広く高度な専門知識と実験技術を備えた理工系人材を育成します。得られる学位は、修士（理工学）です。

コース	領 域	研 究 内 容	担当教員
化 学 生 命 理 工 学	合 成 化 学	種々の有機化合物、有機金属化合物、生体関連化合物、機能性触媒等の合成やそのバックグラウンドとなる分子変換プロセスの基本的な手法およびそれに必要な種々の合成試薬の開発や応用、更には各種分光学的手法に基づく構造及び機構の解析、有用物質の合理的分子設計や実験科学的な手法に関する教育研究を行います。	和泉 雅之 中野 啓二 永野 高志
	溶 液 反 応 化 学	種々の有機化合物、無機化合物、有機・無機複合化合物等の構造化学的及び立体化学的变化に伴う動的挙動を、クロマトグラフィーや独自に開発した分析化学的手法によって解明しています。また、分光学的手法に基づく生成機構の解明、官能基選択的物質変換手法の開発や応用等に関する教育研究を行います。その他、環境化学や食品化学に関連する教育研究も行います。	森 勝伸 小崎 大輔 西脇 芳典
	機 能 性 材 料 化 学	有用な有機化合物、無機化合物、有機金属化合物の構造や性質及び反応性についての特徴を把握し、それに基づく各種化合物の機能の構築、改変、付加、転化を主要な課題とする有機機能性材料、無機機能性材料、高分子材料、超分子材料、有機・無機複合材料の開発に関する教育研究を行います。	松本 健司 波多野慎悟 越智 里香
	機 能 物 質 化 学	有機機能性材料、高分子材料、超分子材料、有機・無機複合材料を利用する分子認識材料、光学材料、医薬品材料の分子設計や合成に関する教育研究を行います。また、遷移金属イオンと有機化合物の特性を融合した無機-有機ハイブリッド化合物に代表される無機機能物質をターゲットにします。構造化学的、立体化学的特徴に基づく機能発現メカニズムの解明を通じた有用新物質の分子設計や分子変換プロセスの創製に関する教育研究を行います。	米村 俊昭 渡辺 茂 仁子 陽輔
	水 熱 化 学	高温高压の水の関与する反応条件下における種々の無機化合物、有機化合物、有機金属化合物、有機・無機複合化合物の物性挙動、反応性、構造変化、合成化学について各種分光学的手法により解析するとともに、その応用としての有用新物質の創製や産業廃棄物処理、物質循環プロセス、及び環境調和型物質変換プロセスの開発に関する教育研究を行います。	梶芳 浩二 恩田 歩武 今村 和也
	細 胞 分 子 工 学	動物の生殖に伴うゲノム構造の変化とリセット、発生や再生を進めるマスター遺伝子の発現と下流遺伝子の発現制御機構、機能性タンパク質が細胞に情報伝達する仕組みと細胞内シグナル伝達機構、microRNAの生合成に関わる遺伝子の機能解析、microRNAを介した生理現象の制御機構の解析、組換えタンパク質の作製と変異導入による機能改変、胚や培養細胞への遺伝子導入による遺伝子機能の解析、細胞分化の安定性と可逆性などに関する教育研究を行います。	藤原 滋樹 砂長 毅 山崎 朋人
	生 化 学	生体内で重要な働きを担っているタンパク質の仕組みを解明するため、タンパク質の構造理論に基づいた抽出法と精製法、タンパク質の立体構造と機能の相関関係、活性部位およびその周辺のアミノ酸残基、アミノ酸配列の変異による立体構造変化と機能障害の予測、アミノ酸配列と機能進化など、タンパク質の機能解析に関する教育研究を行います。	杉山 成 湯浅 創

4 地球環境防災学コース

地球環境防災学コースは、地球構成要素の特性、自然現象の発生機構、自然災害の進行準備過程、災害に対する生命財産と構造物の保全策など、自然現象の一つでもある災害の科学的機構、及び防災・減災の側面を重要視した防災工学について教育します。得られる学位は、修士(理工学)です。

コース	領 域	研 究 内 容	担当教員
地球環境防災学	地球物理学	地球物理学的手法を用いて地震学、測地学、気象学、連続体力学の観点から自然現象および自然災害の発生メカニズムの教育研究を行います。高感度・広帯域地震動観測や稠密GNSS観測を通して、プレート運動・地震活動・地殻変動など固体地球表層部の変動の解明を目指します。また、本学独自の二重偏波レーダーネットワークや気象衛星による観測および、モデル実験を通して、竜巻、ダウンバーストなど突風現象などの発生メカニズムと、豪雨をもたらす降水システムの発生・維持メカニズムの解明を目指します。	大久保 慎人 村田 文絵
	地 質 学	46億年に及ぶ地球の変動史について、地質学（岩石学、層位学、古海洋学、古地磁気学、構造地質学など）の立場からその変動様式や変動要因を解明し、過去から現在、更には未来における地球環境の変遷を考察・予測します。フィールドワークを重視した教育研究を行います。	橋本 善孝 池原 実 岩井 雅夫 山本 裕二 川畑 博 松岡 裕美 藤内 智士 長谷川 精
	土 木 工 学	工学的手法を用いて斜面防災工学、構造工学、地盤工学、水工学および計画学の観点から教育研究を行います。斜面崩壊発生の力学的なメカニズムの解明と斜面モニタリングに基づく崩壊発生予測方法の開発、強風・地震等の自然外力による土木構造物の動的挙動の解明・予測と設計法の開発、地盤の変形性や液状化現象の解明と地盤災害を軽減するための防災・減災技術の開発、洪水・土砂災害の発生機構の解明と防災・減災技術の開発、災害時の避難行動のメカニズムの解明と被害最小化のための情報提供手法の開発などを行い、各種自然災害への備えの高度化を目指します。	笹原 克夫 原 忠 坂本 淳 渋谷 欣弘
	建 築 工 学	工学的手法を用いて、耐震工学、木質構造学など建築学の視点を包含した内容を取り扱います。この領域では、設計入力に関わる強震動の特性解明や予測、建築構造物の被害評価や耐震補強方法など、地震等による人的・物的被害の軽減化や関連する諸問題の解決を目指す教育研究を行います。	山田 伸之 野口 昌宏 張 鑫

5 情報科学・データサイエンス・DX教育プログラム

情報科学・データサイエンス・DX教育プログラムは、データサイエンスを基盤とした教育研究を行うプログラムです。情報システム領域および数理・データサイエンス領域では、数理・データサイエンス・デジタル・DX分野を牽引し、新たな知を創造していく高度情報専門人材を育成します。情報科学および情報工学にわたる幅広い学問分野を、情報システム、数理・データサイエンスの領域に分けて教育研究を行います。複合領域では、情報科学およびデータサイエンスを、理工系の科学・技術分野に活用し、新たな価値を創造していける高度情報専門人材を育成するための教育研究を行います。得られる学位は、修士（理工学）です。

プログラム	領 域	研 究 内 容	担当教員
情報科学・データサイエンス・DX教育	情報システム	「情報システム」領域では、コンピュータサイエンスおよび情報処理の基盤となる科学技術を扱います。計算機アーキテクチャ、光情報工学、並列分散システム、高性能計算に関する教育研究を行います。さらに、実践的な応用として、次世代立体映像、障害者支援、FPGAを利用したIoTデバイス開発などの教育研究を行います。	BOAZ JESSIE JACKIN 高田 直樹 森 雄一郎 老川 稔 芝 治也 塩見 日隆
	数理・データサイエンス	「数理・データサイエンス」領域では、数理情報学、データサイエンス、ソフトウェア科学を扱います。数理論理学、離散数学、アルゴリズム、知能ソフトウェア、機械学習、ネットワークアプリケーション、神経情報科学に関する教育研究を行います。さらに、実践的な応用として、脳神経科学に関する教育研究やプレゼンテーション・リハーサル支援システム、ソーシャルネットワークなどの教育研究を行います。	岡本 竜 三好 康夫 木脇 太一 阪口 昌彦 塩田 研一 鈴木 一弘 河井 達治 續木 大介
	複合	理学・工学の多様な分野（数学、物理科学、生物科学、化学生命理工学、地球環境防災学）において、情報科学およびデータサイエンスを利用した複合領域分野について教育研究を行います。	杉山 成 野村 昇 石黒 克也 祖谷 元 小崎 大輔 張 鑫 長谷川 精 比嘉 基紀 加藤 元海 坂本 淳 斎藤 卓也

授 業 科 目 表

(数学物理学コース、生物科学コース、

化学生命理工学コース、地球環境防災学コース)

○＝選択必修科目

◎＝必修科目

△＝社会人必修科目

※2025年4月現在

コース		授 業 科 目	単位数	コース	授 業 科 目	単位数	コース	授 業 科 目	単位数
研究科共通 科目		リサーチプロポーザル	◎2	生物 科 学	生物科学ゼミナールⅠ	◎2		地球環境防災学ゼミナールⅠ	◎2
					生物科学ゼミナールⅡ	◎2		地球環境防災学ゼミナールⅡ	◎2
専攻共通 科目		理工学特論Ⅰ	◎1		植物系統分類学特論	2	自然 科 学 分 野	地殻変動学特論	2
		理工学特論Ⅱ(数物情報系)	◎1		植物生態学特論	2		乱流物理学特論	2
		理工学特論Ⅲ(生物・化学生命系)	◎1		保全生態学特論	2		付加体物性学特論	2
		理工学特論Ⅳ(地球・防災系)	◎1		細胞生理学特論	2		鉱物学特論	2
		数学序論	△2		細胞微細形態学特論	2		地震地質学特論	2
		物理科学序論	△2		数理生態学特論	2		地震テクトニクス特論	2
		生物科学序論	△2		動物生理学特論	2		火成岩石学特論	2
		情報科学序論	△2		魚類形態学特論	2		降水気象学特論	2
		化学生命理工学序論	△2		魚類分類学特論	2		地質構造解析特論	2
		地球環境防災学序論	△2		海洋生態学特論	2		気候システム学特論	2
数 学 物 理 学	コ ー ス 共 通 科 目	数学物理学概論Ⅰ	2		進化古生態学特論	2	地 球 環 境 防 災 学	古海洋学特論	2
		数学物理学概論Ⅱ	2		堆積地質学特論	2		地球惑星電磁気学特論	2
	数 学 系 科 目				分子古生物学特論	2		海底地質構造学特論	2
					比較生化学特論	2		海底物理探査学特論	2
					種子植物分類学特論	2		実験岩石物性学特論	2
					有用植物学特論	2		微古生物学特論	2
		数学ゼミナールⅠ	◎2	化 学 生 命 理 工 学			防 災 技 術 分 野	斜面防災工学特論	2
		数学ゼミナールⅡ	◎2		化学生命理工学ゼミナールⅠ	◎2		構造工学特論	2
		大域解析学特論	2		化学生命理工学ゼミナールⅡ	◎2		地盤工学特論	2
		微分方程式特論	2		生体分子化学特論	2		耐震工学特論	2
		力学系特論	2		機能物質化学特論	2		水理学特論	2
		関数論特論	2		配位化学特論	2		木質構造学特論	2
		幾何学特論	2		溶液反応化学特論	2		都市計画学特論	2
		応用幾何学特論	2		機能材料化学特論	2		風工学特論	2
		位相幾何学特論	2		錯体化学特論	2	特 別 研 究 科 目	理工学特別研究	◎8
		ホモトピー論特論	2		結晶物理化学特論	2			
		代数学特論	2		触媒化学特論	2			
		代数幾何学特論	2		有機金属化学特論	2			
		抽象代数学特論	2		分離化学特論	2			
		応用代数学特論	2		有機構造物性化学特論	2			
		統計数理学特論	2		光物質変換化学特論	2			
		統計モデル論特論	2		超分子化学特論	2			
		応用確率論特論	2		生化学特論	2			
		確率過程特論	2		細胞分子工学特論	2			
	物 理 学 系 科 目	物理科学ゼミナールⅠ	◎2		発生生物学特論	2			
		物理科学ゼミナールⅡ	◎2		有機合成化学特論	2			
		応用電磁気学特論	2		構造生物化学特論	2			
		量子多体系物理学特論	2		遺伝子工学特論	2			
		統計力学特論	2						
		相対論的天体物理学特論	2						
		磁性物理学特論	2						
		遷移金属酸化物物性特論	2						
		無機材料科学特論	2						
		現代物性科学特論	2						

授 業 科 目 表

(情報科学・データサイエンス・DX教育プログラム)

○＝選択必修科目
◎＝必修科目
△＝社会人必修科目

※2025年4月現在

科目区分	授 業 科 目	単位数	科目区分	授 業 科 目	単位数	科目区分	授 業 科 目	単位数									
研究科共通	リサーチプロポーザル	◎2	複合領域（数学系）	大域解析学特論	2	複合領域（地球環境防災学系）											
専攻共通	理工学特論Ⅰ (SRU×地域)DX特論 情報科学・データサイエンス序論	◎1 ◎1 △1		微分方程式特論	2												
				力学系特論	2												
				関数論特論	2												
				幾何学特論	2												
				応用幾何学特論	2												
				位相幾何学特論	2												
コア科目群	機械学習特論Ⅰ 機械学習特論Ⅱ 深層学習特論 画像分析特論	○2 ○2 ○2 ○2		ホモトピー論特論	2												
				代数学特論	2												
				代数幾何学特論	2												
			抽象代数学特論	2													
			応用代数学特論	2													
周辺科目群	バイオインフォマティクス特論 シミュレーション特論 マルチメディア工学特論 統計数理学特論 統計モデル論特論 計算機物理学特論 量子場物理学特論 数理生態学特論 保全生態学特論 分離化学特論 構造生物化学特論 都市計画学特論 風工学特論	○2 ○2 ○2 ○2 ○2 ○2 ○2 ○2 ○2 ○2 ○2 ○2 ○2 ○2	応用確率論特論	2													
			確率過程特論	2													
			応用電磁気学特論	2													
			量子多体系物理学特論	2													
			統計力学特論	2													
			磁性物理学特論	2													
			遷移金属酸化物物性特論	2													
			無機材料科学特論	2													
			現代物性科学特論	2													
			物性実験特論	2													
			ゼミナール	IDD教育プログラムゼミナールⅠ IDD教育プログラムゼミナールⅡ	◎2 ◎2				植物系統分類学特論	2							
									植物生態学特論	2							
									細胞生理学特論	2							
									細胞微細形態学特論	2							
動物生理学特論	2																
魚類形態学特論	2																
魚類分類学特論	2																
海洋生態学特論	2																
進化古生態学特論	2																
堆積地質学特論	2																
分子古生物学特論	2																
比較生化学特論	2																
種子植物分類学特論	2																
有用植物学特論	2																
情報システム領域	高性能コンピューティング特論 並列分散システム特論 デジタルイメージング特論 計算機アーキテクチャ特論 デジタル回路特論 光情報工学特論 集積回路設計特論	2 2 2 2 2 2 2	複合領域（化学生命理工学系）						特別研究	理工学特別研究	◎8						
												数理・データサイエンス領域	知能ソフトウェア特論 ネットワークアプリケーション特論 神経情報科学特論 知能システム工学特論 アルゴリズム論特論 離散数学特論 数理論理学特論 自然言語処理特論 強化学習特論 データベース論特論 数理幾何学特論	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			

修了要件及び学位

本専攻の修了要件は、原則として2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文を提出して、その審査及び最終試験に合格することです。

在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとします。

数学物理学コース、生物科学コース修了者には修士(理学)の学位が、情報科学・データサイエンス・DX教育プログラム、化学生命理工学コース、地球環境防災学コース修了者には修士(理工学)の学位が授与されます。

長期履修学生制度について

理工学専攻では、職業を有している等の事情で履修可能な授業単位数や研究指導を受ける時間が制約され、標準修業年限の2年では十分な研究時間が確保できない、また、2年を超えてしまつては授業料が余分にかかり、経済的に負担になるという方のために、標準修業年限の2年を超え、2年6か月～4年間(学期の区分に従い6か月単位)での計画的な履修を可能とした長期履修学生制度を実施しています。

この制度により、授業料は標準修業年限の2年間で支払うべき総額を、計画的な履修を認められた期間内で均等に分割して支払うこととなります。

また、この制度は入学後の事情の急変(就職、転勤等)にも対応し、事情によっては、長期履修期間の変更(短縮、再延長)を認められることもあります。

この制度の適用を希望する場合には、入学手続き書類とともに送付される申請書類により定められた期限までに申し込んでください。

社会人に対する授業時間等の特例

- (1) 授業科目は、原則として、特別の授業時間帯に履修するものとします。
- (2) 授業担当教員と受講する社会人学生の勤務状況や研究・教育の内容によっては、十分な配慮のもとで、授業時間をその他の時間帯(夏季・冬季休業期間等)に設定することがあります。
- (3) 勤務の都合がつく場合は、通常(昼間)の時間帯の履修を認めます。

教育職員免許状

中学校教諭一種免許状又は高等学校教諭一種免許状[数学、理科又は情報のいずれかの教科]を有し、かつ当該教科に該当するコース・プログラムにおいて所定の単位を修得した者は、次の免許状を取得することができます。

理 工 学 専 攻	中学校教諭専修免許状(数学)、高等学校教諭専修免許状(数学) 中学校教諭専修免許状(理科)、高等学校教諭専修免許状(理科) 高等学校教諭専修免許状(情報)
-----------	---

教員免許取得を目的とする科目等履修生に対する特例措置について

大学院で学びながら、一種免許状の取得が可能です。

【科目等履修生として免許取得に必要な学部の授業を履修できます。諸費用(検定料・入学料・授業料)は必要ありません。】

総合人間自然科学研究科(修士課程・専門職学位課程)では、「教員免許取得を目的とする科目等履修生に対する特例措置」を実施しています。

この特例措置は、学部在学時等に修得単位不足で教員免許が取得できなかった者や、学部在学時には免許取得を希望していなかったが大学院に入学し新たに教員免許を取得しようとする者が、学部の科目等履修生として入学し、大学院の教育課程と並行して学部の授業(教員免許取得に必要な科目に限る)を履修することを可能とするものです。履修に要する費用(検定料・入学料・授業料)は徴収しないこととなっています。(ただし、教材費等は別途必要)

また、大学院における学修に必要な単位を修得することによって、大学院修了時には専修免許状を取得することができます。(スポーツ・芸術文化共創専攻は除く。)なお、2年間で大学院の教育課程及び一種免許状取得のための必要単位修得が困難であると考えられる場合は、長期履修学生制度を活用することも可能です。(長期履修学生制度については、P.37「長期履修学生制度について」をご覧ください。)

※ 授業は、学部の通常授業及び集中講義の科目を受講することになります。

夜間開講等の特別な対応は、予定しておりません。

【取得できる免許】

原則として、入学(所属)する専攻の基礎学部において取得可能な免許(教科)に限ります。

所属専攻	基礎学部	取得できる免許状
人文社会科学専攻	人文社会科学部	中学校教諭(国語・社会・英語)
		高等学校教諭(国語・地理歴史・公民・商業・英語)
理工学専攻	理工学部	中学校教諭(数学・理科)
		高等学校教諭(数学・理科・情報)
看護学専攻	医学部	養護教諭
農林海洋科学専攻	農林海洋科学部	中学校教諭(理科)
		高等学校教諭(理科・農業・水産)
スポーツ・芸術文化共創専攻		中学校教諭(音楽・美術・保健体育)
		高等学校教諭(音楽・美術・保健体育)
教職実践高度化専攻		幼稚園教諭
		小学校教諭
		中学校教諭(国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・技術・家庭・英語)
		高等学校教諭(国語・地理歴史・公民・数学・理科・音楽・美術・保健体育・家庭・情報・英語)

※取得できるのは、原則として、1つの免許状に限る。ただし、同一教科であれば、中学校教諭と高等学校教諭の2つを取得することは可能。(例：中学校(国語)と高校(国語)、中学校(社会)と高校(地理歴史))

【申請手続き】

『入学者の手引』送付時に、「教員免許取得を目的とする科目等履修生に対する特例措置」についての詳細案内を同封します。申請期限・提出書類等をご確認の上、手続きを行ってください。

試験場案内

試験場：高知大学朝倉キャンパス（高知市曙町二丁目5番1号）

〔交通アクセス〕

① JRで来られる方へ

J R 朝倉駅	徒歩(約5分).....▶	高知大学(朝倉キャンパス)
---------	---------------	---------------

J R 高知駅	路面電車(とさでん交通、以下、省略)「高知駅前」電停で乗車(約5分)、 「はりまや橋」電停で下車、以下の①・②・③へ乗り換え
------------	---

② 航空機で来られる方へ

空港連絡バス	「高知龍馬空港」で乗車(約30分)、「はりまや橋」で下車、以下の①・②・③へ乗り換え
--------	--

【乗り換え】高知市内中心部より

①路面電車 「はりまや橋」電停	「朝倉(高知大学前)」・「いの」行きに乗車(「鏡川橋」経由)(約30分)、 「朝倉(高知大学前)」下車.....▶	高知大学(朝倉キャンパス)
--------------------	--	---------------

②とさでん交通バス 「堺町」バス停	「宇佐」・「高岡」・「天王ニュータウン」(いずれも朝倉駅経由)方面行きに乗車 (約25分)、「朝倉(高知大学前)」下車.....▶	高知大学(朝倉キャンパス)
----------------------	--	---------------

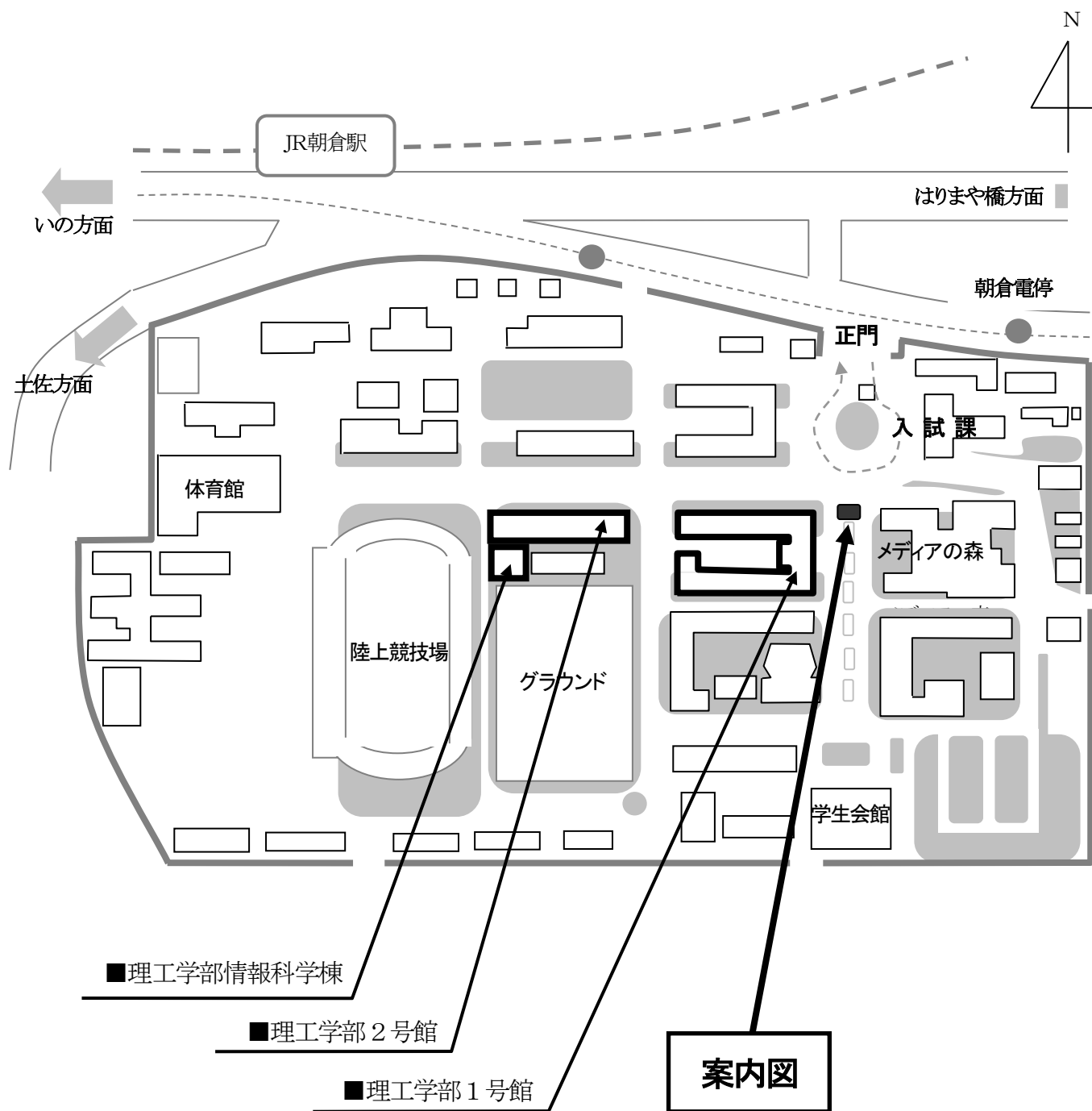
③県交北部交通バス 「堺町」バス停	「長沢」・「土居」(いずれも朝倉駅経由)方面行きに乗車(約25分)、 「朝倉(高知大学前)」下車.....▶	高知大学(朝倉キャンパス)
----------------------	---	---------------

※発着時刻・料金は、時刻表などでご確認ください。

各キャンパス 案内図



高知大学朝倉キャンパス平面図



※試験当日は「案内図」をご覧ください。